



「火の用心」していますか？



人に与えられた「**火を使う**」という知恵。「**火**」は、私たちの生活になくってはならないものであり、豊かな生活の一助となっています。

その一方、私たちは火の便利さに慣れ、ときに「**火の使い方**」を誤り、火の脅威を受けているのも事実です。

便利な火による被害を受けず、豊かな生活を送るために、今いちど「**火の用心**」を心がけましょう。



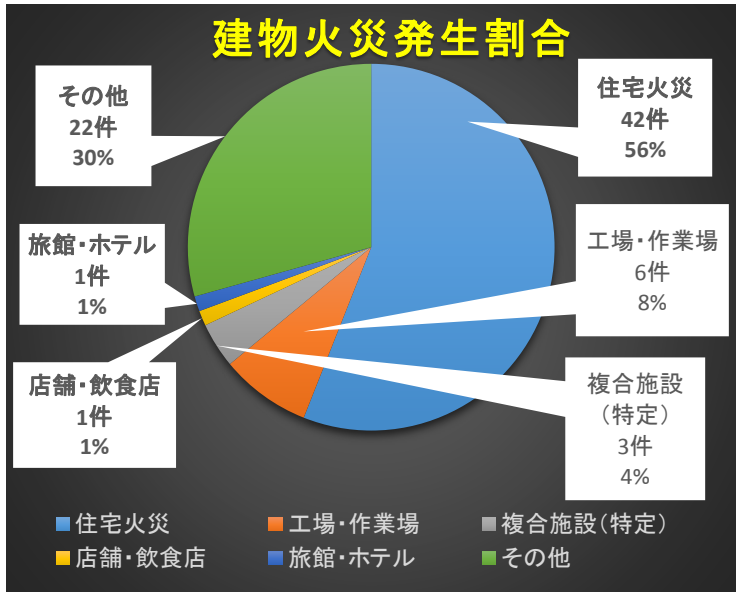
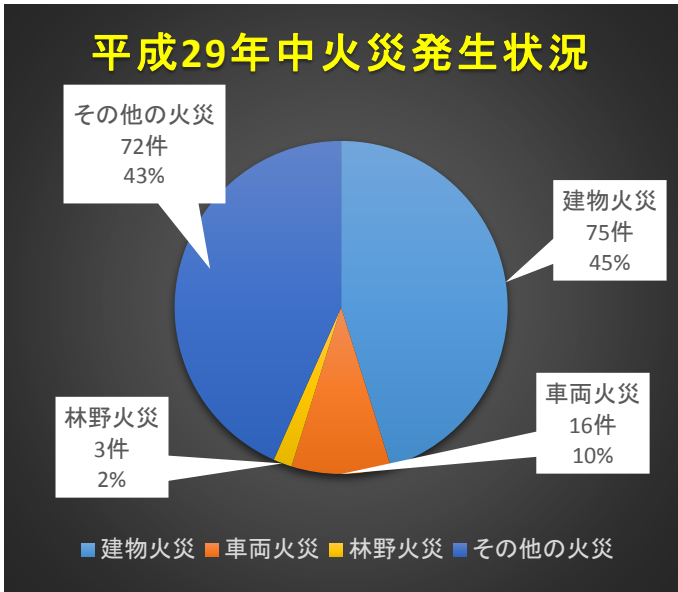
このページでは、火災の発生状況、火災原因別の予防対策について紹介いたします。

消防よもやばなし

「**火の用心**」のルーツ



火 災 発 生 状 況



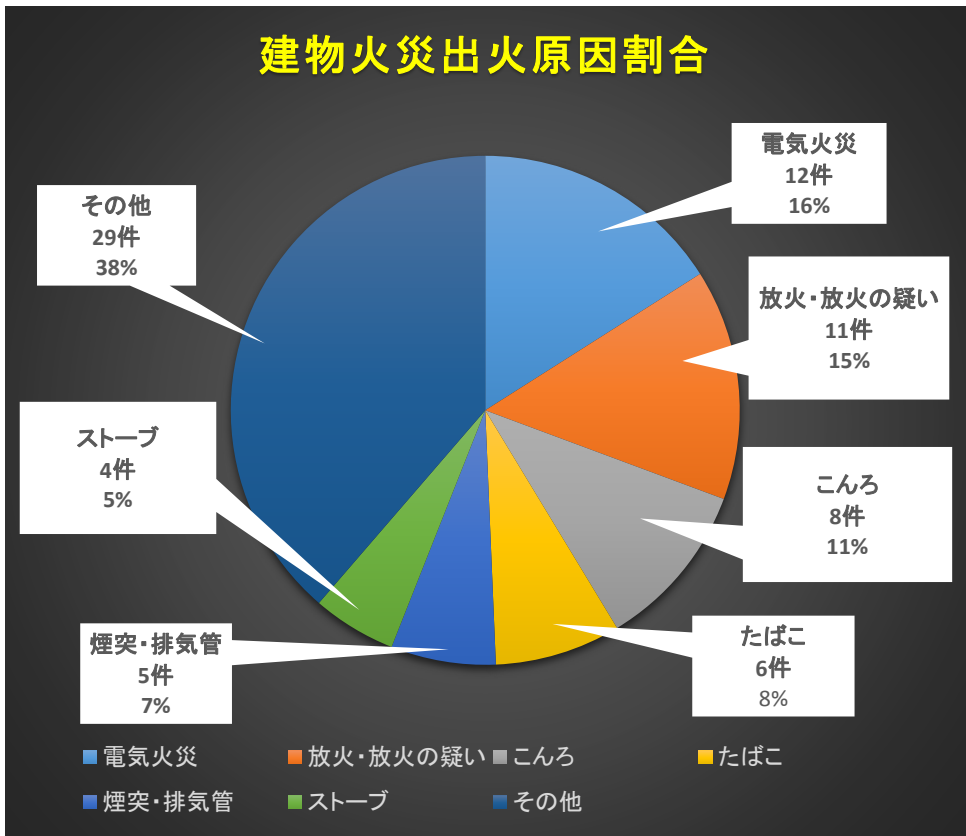
・ 駿東伊豆消防本部管内 火災発生件数 166件 (平成29年中)

駿東伊豆消防本部管内では、**約2.2日に1回**火災が発生しており、そのうちの**45%**が**建物火災**です。

また、建物火災の種別を見ますと、**住宅からの火災が最も多く、半数以上**を占めています。

※ その他の火災とは、建物火災、林野火災、車両火災、航空機火災、船舶火災以外の火災をいいます。

出 火 原 因



・ 駿東伊豆消防本部管内 建物火災発生件数 75件 (平成29年中)

建物火災の出火原因別で見ますと、**電気火災**によるものが最も多く、次いで**放火**又は**放火の疑い**、**こんろ**等の原因が上位となっています。

建物火災における火災事例（平成29年中）

電 気 火 災

【事例1】

電気配線が束ねられて配線されていたことにより配線被覆が発熱して短絡、配線被覆に着火し出火、建物が焼損した。

【事例2】

テーブルタップのコードがラックに踏みつけられていたために電気配線の絶縁が破壊され短絡し出火、建物が焼損した。

【事例3】

差込型電線コネクタに差し込まれた芯線の接続が不十分であったため、接触部にジュール熱が発生し電線被覆に着火し出火、建物が焼損した。

こ ん ろ 火 災

【事例1】

天ぷら鍋を電磁調理器に掛けたまま、その場を離れ加熱したため発火点に達し出火、建物が焼損した。

【事例2】

ガスコンロのスイッチを入れようとしたが誤ってグリルスイッチを点火させ放置したことによりグリル内の油類に着火し出火、建物が焼損した。

【事例3】

調理中、ガステーブルの火が着衣に着火して女性1人が負傷している。

た ば こ 火 災

【事例1】

吸い殻の溜まった灰皿に、完全に火の消えていない吸い殻を捨てたために、無炎燃焼を継続し火のついた吸い殻がこぼれ落ち、周囲に置かれたごみ屑等に着火し出火、建物3棟が焼損した。

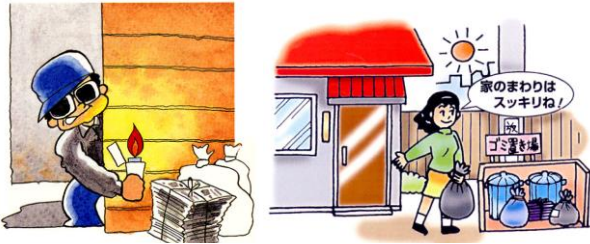
【事例2】

誤って寝具の上にたばこが落ち、布団に着火し出火、建物が焼損し男性1人が負傷した。

S T O P 火 災

STOP 放火火災

- 家の周りに燃えやすい物を置くのはやめましょう。
- 門扉や車庫、物置などの戸締りをしましょう。
- ゴミは収集日の朝出すようにしましょう。
- 車、バイクなどのボディーカバーは防災品を使いましょう。
- 家の周囲に、外灯やセンサーライト、防犯カメラなどを設置しましょう。
- 地域ぐるみで協力して、放火させない・放火されない環境づくりをしましょう。



STOP こんろ火災

- こんろを離れるときは、必ず火を消しましょう。
- こんろの周りに、ふきんなどの燃えやすい物を置くのはやめましょう。
- グリルや換気扇は、こまめに清掃しましょう。
- 衣類に着火しないように注意しましょう。
- こんろは、壁から離して取り付けましょう。
- 安全機能付きのこんろを使用しましょう。



STOP 電気火災

- コンセントやプラグは、定期的に掃除しましょう。
- プラグはしっかりコンセントに差し込みましょう。
- たこ足配線はやめましょう。
- 必要のない電化製品はコンセントから外しましょう。
- 電気コードを束ねて使用するのはやめましょう。
- 電気コードはソファや家具などで踏みつけないようにしましょう。
- 劣化した電気コードは使用するのはやめましょう。
- ドラムコードは伸ばして使用しましょう。



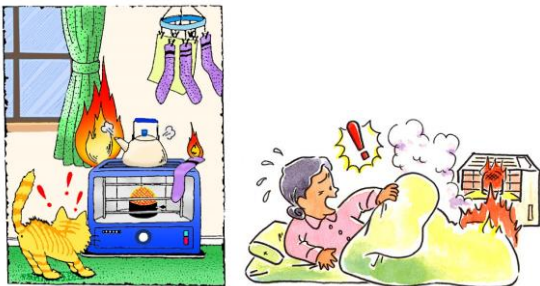
STOP たばこ火災

- 寝たばこはやめましょう
- ふとんなどの燃えやすいもののそばでたばこを吸うのはやめましょう。
- 灰皿に吸い殻をためるのはやめましょう。
- 吸い殻は水に濡らしてから捨てましょう。
- たばこの投げ捨てはやめましょう。
- くわえたばこをしながら作業をするのはやめましょう。



STOP ストーブ火災

- ストーブをカーテンのそばに置くのはやめましょう。
- ストーブで洗濯物を乾かしたり、ストーブの前にスプレー缶を置くのはやめましょう。
- 石油ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行いましょう。
- ストーブをつけたまま、寝たり外出するのはやめましょう。
- 暖房シーズン前に必ず点検、整備をしましょう。



その他の火災予防

- 家のそばでたき火をするのはやめましょう。
- お仏壇の火（ろうそく・線香）が消えるまでその場を離れるのはやめましょう。
- お風呂の空焚きに注意しましょう。
- 子供の火あそびに注意しましょう。



住宅火災から命を守るために！

- 安心して眠るために、寝室に住宅用火災警報器を取り付けましょう！
（寝室が2階にある場合は、階段の天井部にも）
- 万が一のために、家庭用の消火器を用意しておきましょう！
- カーテン、じゅうたん、布団カバー、パジャマは燃えにくい防災品を使いましょう！



消防庁登録者番号

防 災

登録確認機関名
公益財団法人 日本防災協会